

第4回村上市保育園等施設整備計画審議会 会議録

会議名	第4回村上市保育園等施設整備計画審議会
日時	令和3年7月8日(木) 午後2時15分～午後4時15分
会場	村上市役所本庁4階 大会議室
出席者	委員：13人（仲委員、松田委員、斎藤委員、黒子委員、長委員、川村委員、黒坂委員、渡辺委員、佐藤委員、井上委員、和田委員、本間委員、中村委員）
	欠席委員：小川委員、上島委員
	事務局：中村こども課長、荒川支所地域振興課 瀬賀課長補佐、朝日支所地域振興課 中嶋課長補佐、山北支所地域振興課 齋藤課長補佐、山辺里保育園 菅原園長、高南保育園 齋藤園長、みのり保育園 高橋園長、金屋保育園 小林園長、こども課 小林副参事、石山係長、高橋室長、渡辺係長

会議録

1 開 会

2 会長挨拶

※委員15名中13名の出席により審議会成立を報告。

3 議 事

(1) 第3次村上市保育園等施設整備計画（素案）について事務局からの説明

委 員：第2次村上市保育園等施設整備計画の具体的な整備計画では、保育園の村上地区において第一保育園、第二保育園、山居町保育園は統合し新設保育園の設置に向けて取り組むとされているが、今回の素案では、新設という言葉はないが、新設を行わないということか。また、子育て支援センターの計画では、朝日地区の朝日子育て支援センターと村上地区の上海府子育て支援センターは旧神納東小学校など閉校した施設の活用について取り組むとなっており、神林地区も旧神納東小学校などの閉校した施設の活用に取り組む

となっているが、現在6箇所ある子育て支援センターは少なくなるのか。

こども課：今回の素案ではご指摘のとおり、村上地区の保育園整備に対して新設という言葉は入っていないが、当然統合の際には新しい保育園の建設ということが必要になってくる。この辺の表現については検討したい。子育て支援センターについては、今現在統合し数を減らすなどの計画はないが、今後支援センターの在り方については検討しなければならないと考えているし、建物や設備の老朽化が進んでおり、旧神納東小学校などの閉校した施設という表現にしているが、同じような空き施設の活用について取り組んでいきたいと考えている。今現在で支援センターの数を減らすというものではない。

委員：これから旧病院の跡地を村上市が一括取得を希望していると議会だよりで掲載されていたが、その影響により村上地区保育園整備の優先順位はどうなるのか。

こども課：病院跡地の活用については現時点では決まっていないと認識している。こども課では3園の保育園整備については早急な取組が必要だと考えている。

委員：学童保育所の関係だが、空き教室の利用とのことだが、そのまま利用するのではなく改修とかなを行うのか。

こども課：必要に応じて対応していきたい。

委員：村上地区保育園整備の進捗状況はどうなっているか。保内学童保育所については定員70名のところを93名の登録者がいる状況で1年生2年生が特に多く、今のスペースだと危険があるのではないかと。増築や空き教室の活用についてどのように考えているか。

こども課：学童の定員の決め方については、当初より基準よりかなり広くとっているが、今後具体的な保育面積の確保について検討していきたい。

委員：低学年と高学年と一緒に保育されており、ドッチボールとかで遊んでいるとぶつかってけがをしたとの話もきいたことがあるので、介助員の方の配慮も必要だと考えてる。昨年のコロナで休校した際には、学童保育の情報が乱れ、保護者が混乱したことがあった。コロナ禍でも家庭保育が難しい状況が変わらない場合が多いので柔軟に対応してもらいたい。

こども課：昨年休校した際には、学童でも特別な対応を行った経緯があり、またコロナ禍ということで分散保育についても検討し、情報が錯綜してしまった。今後の対応に活かしていきたい。

委員：山北地区の保育園と学童は、そんなに古くもなく、敷地も広くて充実してるが、病児保育がない、小児科医もない。なにかあっても近くに診てくれる医者がないのはすごく不安。現状は村上か鶴岡へ行っている。急病時に40分かけて受診しなければならない。自然が多くていい所だが、生活がしづらいところがある。また、山北地区は公園が少ないし、遊具が使えない草が生い茂っている公園がある。公園など遊ぶ場所がないので管理をしっかりやってもらいたい。

こども課：ご指摘のとおり小児科医がいないと病児保育が成り立たない。山北地区の医療機関などにこ

れからも要望を行っていききたい。公園については、こども課で所管していない場所なので、確認しておく。

委員：人口が減少していく中、これからの統廃合を行っていく保育園はすべて民設民営なのか。また保育士確保についてどのような考えなのか。

こども課：市職員として保育士が80名ほどおり、全ての公立保育園を民間に移管させていくという選択肢はないと考えている。保育士確保については今年度より保育士資格取得に対する補助金を創設して資格所得へ後押しをしている。

こども課：（園長）現場では基準に基づき保育士を配置している。実習生も多く声をかけているが、若い人達は都市部へ流れていってしまう。

会長：有資格者の確保対策は。

こども課：（園長）村上市での確保は困難。保育士が絶対数足りていない。民間と公立で取り合っている。県内では新潟市以外はみんな同じではないか。村上市は保育環境がとても良いのでこのことをうまく発信できればと考えている。

委員：これからの少子化対策や施設の老朽化対策はこの計画に反映しているが、人口減少の対策をどうするかも検討しなければならないのでは。市から人が流出しないようにするためにはどうすればいいかをもっと考えてもらいたい。その転出する人にその理由を聞くと転出先がチャイルドシートの助成があったりなど、子育てしやすい環境だからという答えが返ってきた。子ども達が村上市にいてくれるためにはどうすればいいのか、子育て支援しやすい地域にするにはどうすればいいのか、計画に反映してもらいたい。

こども課：当該計画は施設の在り方や方向性を示している計画となっている。委員が言われた内容については、子ども・子育て支援事業計画が担っている。

委員：子ども達をいつもみてもらっている保育士の方や学校の先生方にはほんとに感謝している。保育士確保の話だが、若い人は都市部を好むので、村上市では育休の充実など魅力がある職場づくりが大切だと思う。

委員：具体的な整備計画が5年前と同じでは違和感がある。5年間で成し遂げられなかった原因は財政的などところもあるかもしれないが、5年間で達成すべきことではないか。計画が出来たら実現に向けて頑張ってもらいたい。

委員：子ども達とその親が村上市に残ってもらうような環境整備を行ってもらいたい。

こども課：委員ご指摘のとおり、次の5年間で計画を成し遂げていかなければと考えている。また、子ども達やその保護者が村上市にいたいと思えるような環境整備を引き続き行っていききたい。

4 その他 特になし

5 次回の会議日程について 令和3年9月から10月頃開催予定で、本日の会議で出た意見を基に素案を修正し、次回会議に向けて、郵送などで委員の皆さんとやり取りさせていただきながら具体的な整備計画案について検討して行く。

6 閉会のあいさつ 渡辺副会長

午後4時15分 終了